

§ 4 . 料金割引以外の実験中の方案（案）について

料金割引以外に、大型車の現道利用者が高速道路へ転換するしくみとして検討を行った。

トラック事業者へのインセンティブ付与

貨物車両の高速道路への誘導については、各トラック運送事業者の協力が必要不可欠であることから、実験に参加することで参加企業のメリットとなるような方案を検討した。

案 1) 環境協力企業として、参加企業を宣伝

参加企業をモニター登録し、本実験の広報活動を併せて宣伝を行う。
沿道環境に配慮した企業として、社会実験の告知CM（テレビ・ラジオ等）や、国土交通省のHP、リーフレット等で「トラック DE エコ作戦」の協力企業として宣伝を行う。

モニター登録車両には、本実験のステッカーの貼付等を検討

< 検 証 >

- ・事前に本実験の主旨などを宣伝・PR する必要がある。
- ・参加登録に時間を要するが、新たな補填金等は発生しないため実施可能。



本実験中の実施は可能

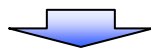
案 2) 登録企業のうち、その利用頻度の高い企業等を表彰

案 1 において登録された企業のうち、国道 2 号からの転換による利用頻度が多かった企業や、ドライバー等を協議会として表彰する。

- ・**企業表彰**
モニター登録企業のモニター登録車両の高速利用頻度を合計ポイント等で評価。
- ・**ドライバー表彰**
モニター登録車両が山陽自動車道の実験対象区間を通行することにポイントを加算し、合計ポイント等で評価。

< 検 証 >

- ・案 1 の補足的な内容であるため、同様の理由により実施可能。
- ・ただし、評価方法については、さらに詳細に検討する必要がある。



本実験中の実施は可能

なお、実験後、このようなインセンティブ付与による効果がみられた場合、今後の展望として、社会貢献を行う企業としての認証制度やそれに伴う税制面や融資面などの優遇措置に応用すること等も可能である。

アンケート調査標

割引料金の設定について

実験時の割引料金の設定の妥当性について検証するためトラックドライバーに対して、事前にアンケートの調査を実施する。

アンケートは、ドライバーとしての視点から、高速道路利用に関する現状や本社会実験の利用意向を把握するとともに、本社会実験における割引料金の設定の基礎資料として活用する。

<< トラックドライバー・アンケート >>

調査目的（検証内容）

- ・ドライバーの高速道路利用の現状を把握
- ・経路選択における裁量権の把握
- ・社会実験における高速道路利用の意向
- ・高速道路利用を促す方策の検討（実験における割引率や他の方案）

料金割引以外の方案について

料金割引以外の方案の妥当性について検証するため、トラックドライバー、運送事業者に対して事前アンケート調査を実施する。

<< トラック運送事業者・アンケート >>

調査目的（検証内容）

- ・道路環境問題に対する認識と環境対応策の現状把握
- ・企業としての高速道路利用の現状把握
- ・高速道路の利用促進に向けた方策の検討と仕組みづくり
- ・社会実験への意見と協力意向把握
- ・実験実施による高速道路利用に対する意識変化の検証